

かがやき

令和5年 11月 17日 (金)

多摩市立連光寺小学校

特別支援教室 かがやき学級

学級通信

NO. 10

「行事」の始まりと終わりと

先月、聖ヶ丘小学校では令和5年の「運動会」が、先日連光寺小学校では「学習発表会」が、無事に終わりました。どの学校、学年の児童も行事の中で、自分にできることを懸命にやっていたなあと感じました。また、応援や声援を送っていただいた保護者の皆様、ご参観、ご鑑賞ありがとうございました。各学年、個々人の盛り上がりからは「行事」の中での子供達の興奮や充実、実りのある学びを感じる事ができました。「行事」はクラスや学年でそこに向かっていく学校生活の中における学びの場でもあり、同時に個々の非日常的な学びの場でもあります。「行事」前後の支援教室では個別やグループ指導を通して「行事」の振り返りを行い、個々がどのように「行事」に向き合っていたかを気持ちの言葉を使いながら整理して共有して行きました。

運動会・・・「緊張はしたけど、徒競走での結果がよかったからまあ、よかった。」「来年の運動会が心配・・・」「踊りがうまくできない所があったので残念!」「もっと褒めてほしかった」いろいろな思いを抱えながら当日までの変則的な練習日程や通常と異なる雰囲気の中、自分なりの参加方法を模索してきた子もいた。でも当日参加することができた。そんなことを共有することができました。

学習発表会・・・「ドキドキするけど、楽しみ!」「早く終わって欲しい」「始まりのブザー音が苦手」「逃げ出してしまいたい」「ほっとした」「お守りをもっていれば舞台に立てそう!」学年練習の周囲に合わせる雰囲気が苦手な子も中にはいて、子供達同士でも「楽しめた!」「緊張した。」「どっちなあ・・・」というそれぞれのちがう意見の共有場面もありました。

学校行事への取り組みに対しては、子供の数だけ個々の「思い」があります。ただ、当日、概ね全体的に行事がうまく流れている中では、我慢の範囲内で頑張っている子供の姿からはそうした「思い」を深読みすることが難しいとも思いました。そんな中、自分はどう感じたか。言うなればこんな気持ちだとお互いに個々の気持ち共有していくことで自分の「行事」への思いをプラスの形で整理できればと思いました。「行事」は学びの大イベントであると同時に、人によっては学校生活のルーティンが変化して思いもよらぬ「緊張」や「不安」を伴うものでもあることが子供達のやり取りからは伝わってきます。そうした中で一つの行事の始まりと終わりの成長に大人も子供も本当に大きなエネルギーを使って良い学びを作ろうとしている。「行事」の始まりと終わりにこうした多様な「エネルギー(気持ち・思い)」があることを改めて意識しつつ、次の「行事」への準備に取り組んでいけるように子供達を支援、応援していこうと感じた今回の振り返りでした。

お知らせ

・面談について

かがやき学級の面談は2月に変更させていただきます。学級要覧に記載の日程から変更させていただきました。

※場合によっては、12月のクラス面談時に、担任と三者面談させていただく場合もございます。その際は、かがやき学級のお手紙にて個別にご連絡させていただきます。よろしくお願いいたします。